



# くじらメモリー memory

## 舞台美術家の方々と色遊びをしました。

文化庁主催『芸術家の派遣事業』の一環で、舞台美術家の方々による色遊びが行われました。ホールいっぱいに敷き詰められた白い紙。『真っ白島』と名付けられた白い紙に、赤、黄色、青の3色の絵の具を使い、ダイナミックに色遊びが展開されました。



## 真っ白島がどんどんカラフル島へと大変身



筆や刷毛、ローラー、モップなど用意して下さった道具を手にとると、たっぷり絵の具を染み込ませ、思い思いに描き始めました。遊びに夢中になり、絵の具が入った容器を倒しても問題なし。「黄色い池ができたみたい」とそれも遊びに変わっていました。紙の白い部分がなくなりそうになると、スタッフが新しい紙を上重ねていき、最終的に紙は6~7層になっていました。真っ白島がカラフル島に変わった後は「自分だけの宝物探し」。それぞれが好きな場所をちぎり、その形や色から想像した「宝物」を発表し合いました。遊びを展開して下さいました舞台美術家の皆さん、ありがとうございました。